

# 使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）の変更 に係る実施計画変更認可申請の取り下げについて

2022年4月7日

**TEPCO**

---

東京電力ホールディングス株式会社

## ■ 申請中の実施計画（廃炉発官R2第178号）の目的

多核種除去設備（以下、ALPS）にて汚染水を処理する際に発生する廃棄物収納用の高性能容器（以下、HIC）は、使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第二／第三施設）に一時保管している。今後、ALPS二次処理が開始されると、HICの発生量が増加し、保管施設の容量が逼迫するおそれがある。

本申請は、使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）のうち、使用見込みのないKURION等格納用ボックスカルバート64基分を撤去し、代わりにHIC格納用ボックスカルバート192基分を増設することでHIC保管容量を確保し、ALPSの安定運転に資する事を目的としている。

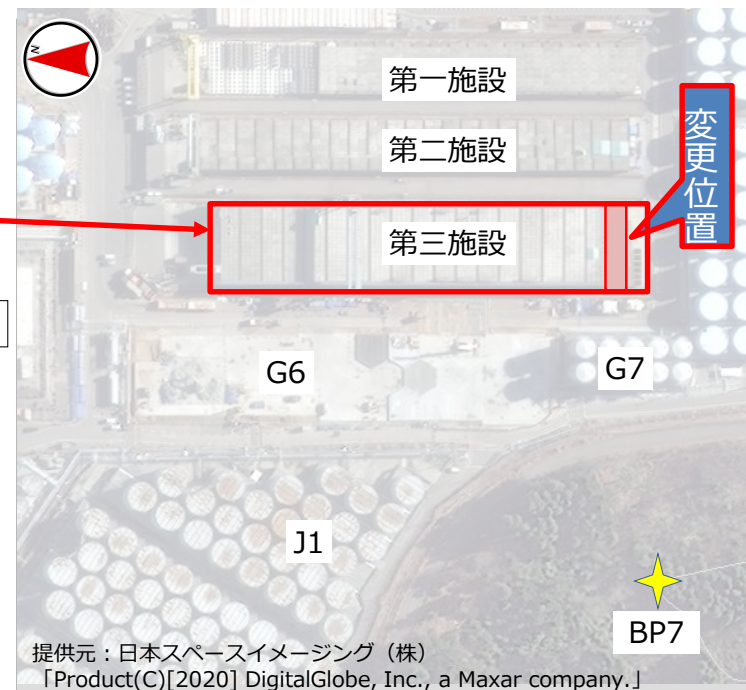
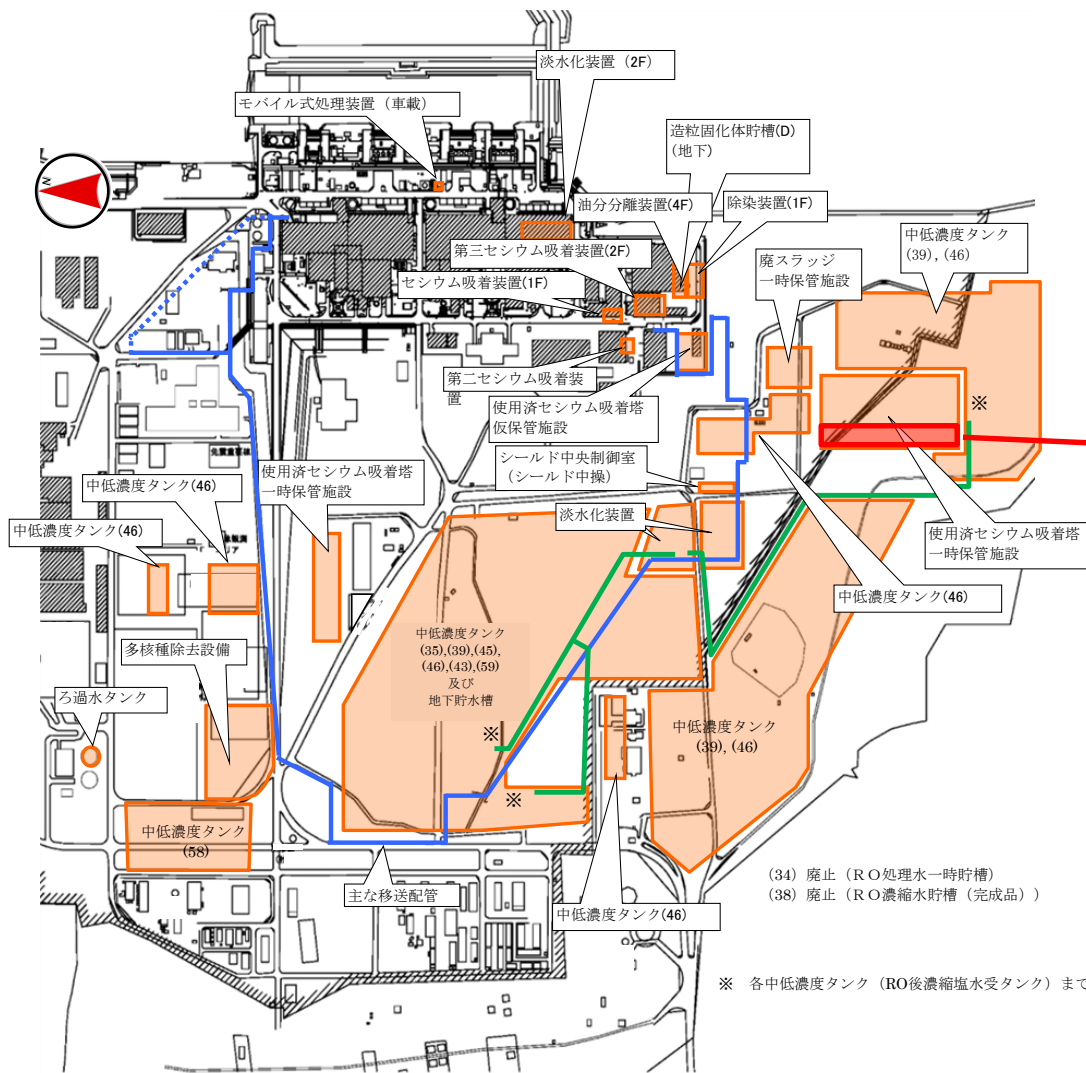
## ■ 申請取り下げについて

使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）は、2021年9月8日の原子力規制委員会で示された耐震設計の考え方を踏まえ、耐震クラス分類及び耐震設計の再検討を実施している。

一方で、使用見込みのないKURION等格納用ボックスカルバート64基分の撤去については上記検討に関係しないことから、先行して撤去工事を進めたい。このため、実施計画変更認可申請の取り下げを行う。

なお、KURION等格納用ボックスカルバート64基分の撤去、HIC格納用ボックスカルバート192基分の増設については申請内容が確定次第、分割して実施計画の申請を行う。

# 【参考】使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）構内配置図

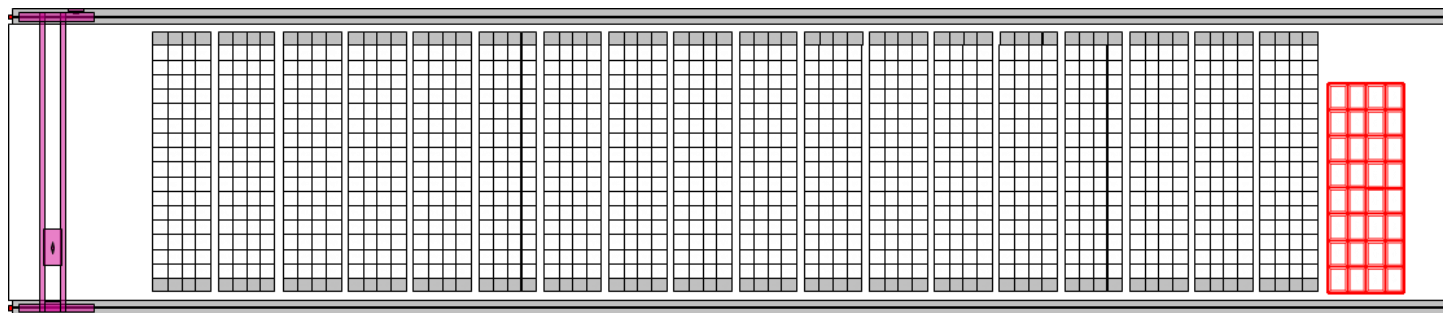


(34) 廃止 (RO処理水一時貯槽)  
 (38) 廃止 (RO濃縮水貯槽 (完成品))

※ 各中低濃度タンク (RO後濃縮塩水受タンク) まで

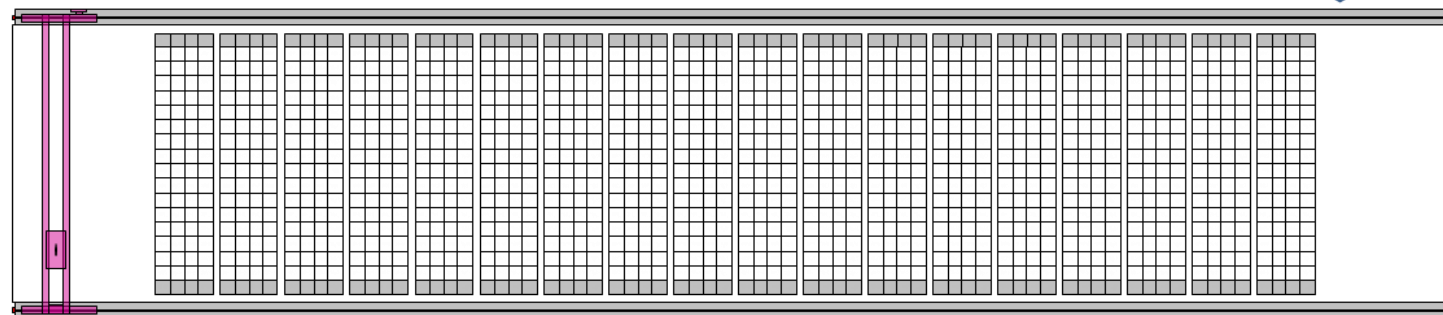
# 【参考】使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）撤去作業概要 **TEPCO**

- KURIION等※64基分用として確保されていた未使用のボックスカルバートを撤去する。



第三施設\_現状

KURIION等64基分用



変更計画

※KURIION等とは、セシウム吸着装置、モバイル式処理装置、モバイル型ストロンチウム除去装置、サブドレン他浄化装置、第二モバイル型ストロンチウム除去装置、放水路浄化装置、浄化ユニット、高性能多核種除去設備検証試験装置にて発生する吸着塔・フィルタを指し、同じ構造のボックスカルバートに収納可能なものを総称するもの。

- 現在は K U R I O N を稼働していないため K U R I O N の使用済吸着塔の発生が殆どなく、サブドレンの使用済吸着塔のみボックスカルバートに保管している状況である。
- サブドレンの使用済吸着塔は年間約 5 基発生しているが、第一・第四施設の K U R I O N 等用ボックスカルバートの空き容量は 2 4 7 基分（2022年3月末時点）が確保されているため、第三施設の K U R I O N 等用ボックスカルバート 6 4 基分を撤去しても、保管容量が逼迫することはない。
- K U R I O N は、S A R R Y / S A R R Y II のバックアップ設備であり、現状においては運転する計画はない。S A R R Y / S A R R Y II がトラブル等で停止し、水処理が滞る場合には運転する可能性があるが、これにより保管容量が逼迫することはない。